

## 主題：ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

### メッセージ 9

#### 神の全体的な救いの二つの面——法理的な面と有機的な面

聖書：ローマ5:10. 出12:7-8. ルカ15:22-23. ヨハネ19:34. 啓22:1-2, 14

- I. ローマ書第5章10節が指摘するのは、神の全体的な救いが二つの面から成っているということです——「わたしたちが敵であった時に、神の御子の死を通して神に和解させられたからには、和解させられている今、さらにいっそう彼の命の中で救われるからです」:
- A. 第一の面は法理的な贖いであり、わたしたちのためにキリストの死によって達成されました。第二の面は有機的な救いであり、キリストの命によってわたしたちに与えられます:
    - 1. 法理的な面は神の義によるのであり (1:17. 3:21-26. 9:30-31)、神の救いの手続きとして、罪人に対する神の義の要求を満たします。
    - 2. 神の全体的な救いの有機的な面は、キリストの命を通して神の救いを成就することであり、それは信者たちが神の命の中で造り変えられ、成長して、円熟するためです——5:10。
  - B. ローマ書の前半の四つの章はキリストの死によって達成された贖いに関して包括的に語りますが、後半の十二の章はキリストの命によって生じる救うことに関して詳細に語っています。
  - C. 客観的な贖いは罪定めと永遠の刑罰から地位においてわたしたちを贖います。主観的な救いは、わたしたちの古い人、わたしたちの自己、わたしたちの天然の命から、性情においてわたしたちを救います。
- II. 神の全体的な救いの法理的な面は、キリストの贖いによる神の救いの手続きであり、それは神の救いが神の律法の要求を十分に満たすためです——1:17前半. 3:21-26. 9:30-31:
- A. 贖うとは、本来あなたのものであったのに、失われてしまったものを買い戻すことです。それは、代価を払って取り戻すことを意味します——参照、イザヤ54:5. 創1:26。
  - B. ガラテヤ書第3章13節は、「キリストは……わたしたちを律法ののろいから贖い出してくださいました」と言います。律法ののろいから贖い出されるとは、律法がもたらす結果から贖われることを意味します。
  - C. 律法がもたらす究極ののろい、その結果は死です (エゼキエル18:4, 20. ローマ6:2-3)。律法を破る者はだれでも罰せられなければなりません。彼の血を流すことによって、主イエスは神の律法の要求に応えました。
  - D. 神はキリストを通してわたしたちのために代価を払い、膨大な費用でわたしたちを取り戻しました。キリストは十字架上で死んで、わたしたちを贖いました (ガラテヤ3:13. テトス2:14. I ペテロ2:24)。彼の血はわたしたちのために永遠の贖いを

獲得しました (1:18-19)。

E. キリストはわたしたちの身代わりとして十字架上で死んで (3:18, 2:24)、わたしたちすべての人に代わって死の宣告を受けました。神の目に、すべての人は死んだのです (Ⅱコリント5:14)。キリストが十字架につけられた時、わたしたちは神のエコノミーにしたがって彼の中に含まれていました (ガラテヤ2:20)。これは達成された事実です。

F. したがって、墮落した人によって律法が破られることによる死の宣告は、その代価が十分に支払われ、執行されました。(1)キリストがわたしたちの身代わりとしてわたしたちのために死にました (Ⅰペテロ3:18, 2:22)。(2)わたしたちは十字架でキリスト共に死にました (ガラテヤ2:20)。

Ⅲ. 罪の赦し (ルカ24:47)、罪を洗い去ること (ヘブル1:3)、神による義認 (ローマ3:24-25)、神との和解 (5:10前半)、主に対する地位上の聖別 (Ⅰコリント1:2, ヘブル13:12) から成る神の法理的な贖いは、神・人に神の有機的な救いを生きる備えをさせて、神の永遠のエコノミーの達成へと至らせませす (ローマ5:10) :

A. 旧約における過越は、神の法理的な要求にしたがった小羊の血の贖う面を啓示しており、それは神の民を死の裁きから救い出すためです。小羊の肉の救う面は、命の供給のためであり、彼らをエジプトから脱出させるためです——出12:7-8。

B. 主の食卓において、杯は彼の血を表徴しており、それは彼がわたしたちの法理的な贖いのために流したのであり、また、パンは彼の命を表徴しており、それは彼がわたしたちの有機的な救いのために解き放ったのです——マタイ26:26-28, ヨハネ6:54-55。

C. 幸いな父が彼の息子を出迎えるという主のたとえの中で、衣は神を満足させる義としてのキリストを表徴しており、法理的な贖いのためにわたしたちを覆います。また、あの肥えた子牛は十字架上で殺された豊富なキリストを表徴しており、それは有機的な救いのためにわたしたちによって享受されるためです——ルカ15:22-23。

D. 主が十字架につけられた時、彼の脇から流れ出た血は、わたしたちの法理的な贖いのための彼の死の贖う面を表徴し、また彼の脇から出た水は、わたしたちの有機的な救いのための命を分与する面を表徴しています——ヨハネ19:34。

E. 「わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を持つ、……わたしの肉はまことの食物であり、わたしの血はまことの飲み物である」——ヨハネ6:54-55:

1. 主がわたしたちに彼の肉体を与え、またわたしたちのために彼の血を流したのは、わたしたちが永遠の命を得るためです。
2. 彼の肉を食べることは、彼がわたしたちのために彼の体を与えることで行なったすべてのことを信仰によって受けることです。彼の血を飲むことは、彼がわたしたちのために彼の血を流したことで彼が達成したすべてのことを信仰によって受けることです。
3. 彼の肉を食べ、彼の血を飲むことは、彼の法理的な贖いにおいて、彼がわたしたちのために十字架上でなしたことを信じることによって、命、また命の供給である彼を受けることです。
4. 主の肉を食べ、彼の血を飲むことは、彼の中へと信じることです。なぜなら、の

中へと信じることは受けることであるからです——47節. 1:12。

**IV. 神の永遠のエコノミーの究極の成就である新エルサレムは、法理的な面と有機的な面を持つ神の全体的な救いの具体化です——ローマ5:10. 啓22:14 :**

- A. 新エルサレムにおいて、キリストはなおも贖う小羊であるでしょう—— 1 節 :
1. 彼は過去の永遠において贖いを計画する際に、小羊として定められました—— I ペテロ1:19-20。
  2. 彼は時間の中で、贖いの完成のために、小羊として死にました——ヨハネ1:29, I ペテロ1:18-19。
  3. 将来の永遠において、彼は贖いの記念のために、なおも小羊であるでしょう——マタイ26:29. 啓22:1。
- B. 神は彼の有機的な救いにおいて、一步一步進んで、神聖な命の中でわたしたちを救い、わたしたちの全存在において、わたしたちが彼の命で満たされて、命の都となるようにします——ローマ8:10, 6, 11. 啓22:1-2。
- C. わたしたちは霊を活用して三一の神を享受することによって有機的に救われて、新エルサレムとなります—— I テモテ4:7. II テモテ1:6-7. ユダ19-21節 :
1. わたしたちは命の光である父なる神を享受する必要があります——啓21:23, 11. 22:5 :
    - a. 光である神との真正で、親密で、生ける、愛すべき交わりを通して (I ヨハネ1:5. コロサイ1:12)、わたしたちは自分が罪深いことを悟り、そしてキリストをわたしたちの罪のためのささげ物と違犯のためのささげ物として取りまします。それによって、わたしたちは命の霊的な循環の中にとどまることができません—— I ヨハネ1:7-9。
    - b. キリストのからだの建造のために、わたしたちは人によって作られた人工の光を必要としません。むしろ、わたしたちは神の言を通して、神聖で、贖い、輝く光の下で生きる必要があります——イザヤ50:10-11. ヨハネ8:12. 詩119:105, 130. マタイ5:14. 啓1:20. 参照、詩73:17。
  2. わたしたちは命の木である子なる神を享受する必要があります——啓22:2. 創2:7-9 :
    - a. 命の木は、十字架につけられ(木片としての木で暗示された—— I ペテロ2:24)、復活させられた (神の命で暗示された——ヨハネ11:25) キリストを表徴しますが、彼はわたしたちの食物のための、神のすべての豊富の具体化です——啓2:4, 7。
    - b. わたしたちはこの木から食べて、絶えず新鮮な実を享受する者であるだけでなく、この木の枝々でもあり、彼の中にとどまって、命の樹液を享受します——ヨハネ15:5. 14:6. 15:7. 8:31。
    - c. 命の木は創世記第2章9節ではただ一つだけでしたが、今日、命の木はわたしたちは全員の中で成長しており、わたしたち一人一人を小さな命の木にらせています—— I ヨハネ3:9. マルコ4:26. コロサイ2:19。
  3. わたしたちは命の川である霊なる神を享受する必要があります——啓22:1 :
    - a. 生ける水を飲むことによって、わたしたちは永遠の命の総合計、流れる三一の

神の目的地である新エルサレムとなります——ヨハネ4:14後半。

b. キリストにある信者として、わたしたちは命の水を飲んで、流す必要がありません——7:37-39. 参照、箴11:25。

D. 神の有機的な救いの過程は、人を神化する神の働きであり、人を神格においてではなく、命と性質において神とさせます。神の有機的な救いの各項目を経験するにつれて、わたしたちは一段ずつレベルアップして、ついに新エルサレムにある存在となります：

1. わたしたちは神の命にあずかることによって再生され、神の種族、神の子たちとなって、神の子たる身分を得ます——ヨハネ1:12-13. 啓21:7. 22:14後半。
2. わたしたちは神の性質にあずかることによって聖別されて、聖なる都同様に聖くなります—— I テサロニケ5:23. エペソ5:26。
3. わたしたちは神の思いにあずかって、新エルサレム同様に新しくなります—— II コリント4:16. エペソ4:23。
4. わたしたちは神の存在にあずかることによって造り変えられて、金、銀（真珠）、宝石である三一の神で構成されます—— I コリント3:12. II コリント3:18. ローマ12:2. 啓21:18-21。
5. わたしたちは神のかたちにあずかることによって神の長子のかたちに同形化されて、新エルサレムの現れを持ちます——ローマ8:28-29. 啓21:11. 4:3。
6. わたしたちは神の栄光にあずかることによって栄光化されて、新エルサレムの栄光で完全に浸透されます——ローマ8:21. ピリピ3:21. 啓21:11。

© 2021 Living Stream Ministry